

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立 長吉東小	学校	児童数	72
-----------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.82	21.79	31.79	39.21	44.89	9.62	148.61	20.37	53.00
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	18.71	18.53	36.76	36.47	32.97	9.63	140.15	11.26	53.32
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計点は、男女ともに大阪市の平均を上回った。男子は「握力」と「上体起こし」で全国平均を上回った。女子は「握力」「上体起こし」に加えて「50m走」でも上回った。「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に対し、「好き」や「やや好き」と答えた児童の割合について、男子は全国平均を上回る高い値であった。しかし、女子は全国平均より低かった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合も、男子は8%で全国平均と比較しても、よく運動しているといえる。しかし、女子は47%と全国平均の2倍以上あり、運動をしていない児童の割合が高いことがわかった。また、体格について集計したものを全国平均と比較してみると、本校は肥満傾向にある児童の割合が高いことがわかった。男女ともに全国平均の約1.5倍であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校の児童が、進んで運動できるよう、体育科の授業の工夫を行ってきた。学習カードや情報端末を積極的に活用してきた。また、今年度は「ラグビー」と「ダンス」の出前授業を実施した。ゲストティーチャーからの専門的な講話や指導により、児童は運動に対する高い意欲を持つようになった。冬季も児童が積極的に外へ出て体を動かすように「かけだし週間」と「なわとび週間」を行った。カードを作成して児童に目標を持たせた。それらの取り組みにより、特に男子で運動に対する意欲が高まった。課題は男女ともに平均値を下回った「反復横とび」である。今後も継続して取り組みを進め、児童の運動の機会を増やしたい。地域のスポーツクラブに積極的に学校の施設を開放して、本校児童の体力が向上するようにしていきたい。